

保健師の副町長として考える、 人口ビジョンを踏まえた健康なまちづくり

～職業生活を振り返って、今思うキャリアデザイン～

保健師等ブロック別研修会
(近畿ブロック)

令和7年11月5日

田原本町副町長 工藤華代



田原本町公式キャラクター
「タワラモトン」

話しの流れ

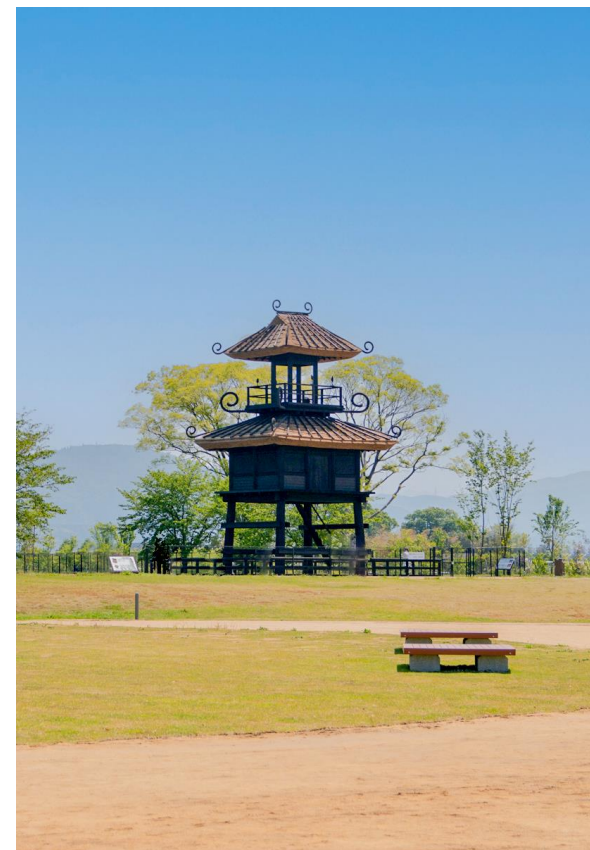
1. はじめに
2. 田原本町の概要
3. 最適に縮むこと
住民の幸福度を上げること
4. 保健事業の体制と取り組み
5. 保健師の立場で思うこと

(1) 自己紹介①

- ・平成元年 東京の医療機関で看護婦として勤務
- ・平成4年 田原本町役場に看護婦で採用
- ・平成6年 保健婦養成学校に入学
- ・平成7年 田原本町役場に保健婦で採用
- ・平成30年 健康福祉課長
- ・令和3年 住民福祉部長
- ・令和6年 副町長（田原本町初の女性副町長）

(2) 自己紹介②

- 副町長とは
- ・町長より指名され、議会で同意を得て選任
- ・町長を補佐し、政策・企画や職員の事務の監督
- ・町長が不在であれば職務を代理
- ・いったん退職し、4年任期
- ・田原本町で副町長は1人のため全体を網羅



(3) 自己紹介 その実態は・・・

- ・平成元年 東京の医療機関で業務についていけず
- ・平成4年 役場に採用され、事務量の多さに驚く
- ・平成6年 学校の勉強に圧倒される
- ・平成7年 役場に保健師で採用
子育て、家事、仕事でもう無理・・・
PTA,学童保育の役員もさらに追加
係長試験を何度も受けず
- ・令和3年 部長になってからも、孫の送迎、家事
あふれかえる業務・・・

毎日を1日1日やれるだけのことをやって
気持ちを切り替えて次の日を迎える

自分の意思を強くもって進む道を決めたの
ではなく、周囲の助言、巡りあわせ



(1) 概要

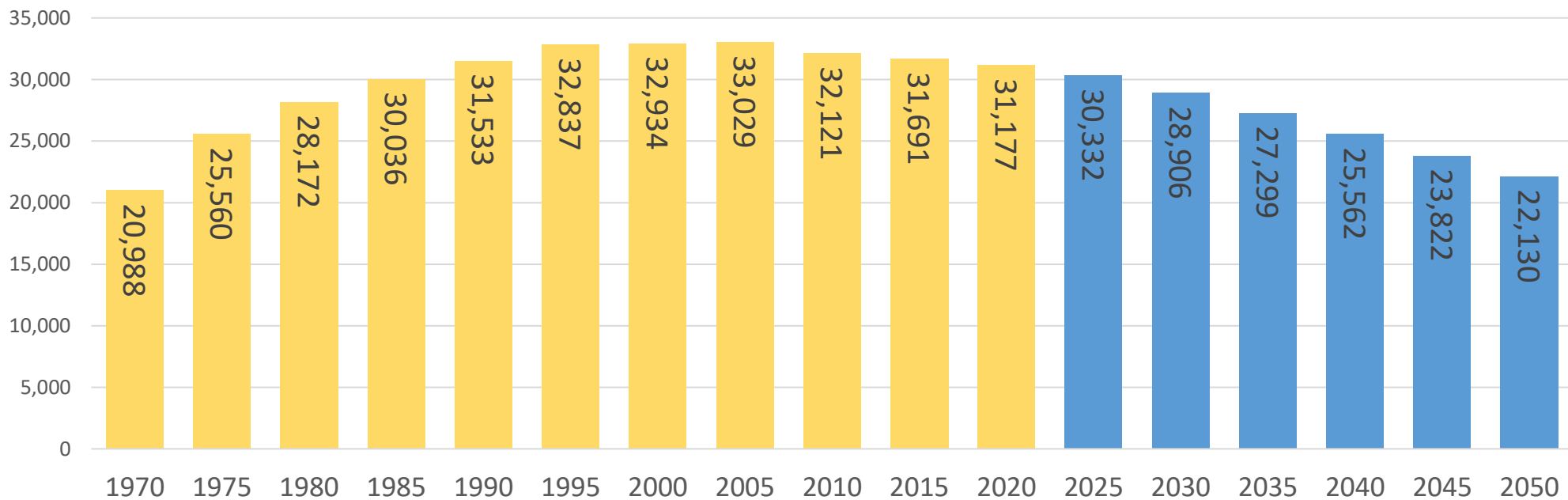
- ・人口約 3 万 1 千人
- ・奈良盆地の中央 東西5.8km 南北6.1km
- ・面積は21.1km²
- ・平坦な土地で、豊かな自然環境が広がっている
- ・歴史的には、弥生時代の「唐古・鍵遺跡」が有名
- ・古墳や神社仏閣等も散在

(2) 人口構造の変化

- ・全国的な傾向同様、近年人口減少傾向
- ・世帯数は増加傾向で推移
- ・この5年は転入者が転出者を上回る社会増
今年 は 自然減、社会減
- ・20代の転出超過が大きい
- ・市街化区域の開発の減少により
ベッドタウンとして限界



図1 田原本町の人口の推移



田原本町の人口推移

※2025年以降の数値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2023年推計）より抜粋

最適に縮む

全国的な流れで少子化がすすむ
一市町村の取り組みでは大きな流れは変えられない

→人口が少なくても住民の幸福度を上げていくことを大切にしよう

- ・ 魅力的な職場を地域につくり、多様な雇用環境を創出
若者に選ばれるまち
- ・ 誰もが安心して暮らせるまち



●国において「地方創生2・0基本構想」がR7年6月閣議決定

<1・0との違い>

- 1・0では、人口減少に歯止めをかけるという考え方
- 2・0は、人口減少を正面から受け止めた上での施策を展開

ウェルカムガイド

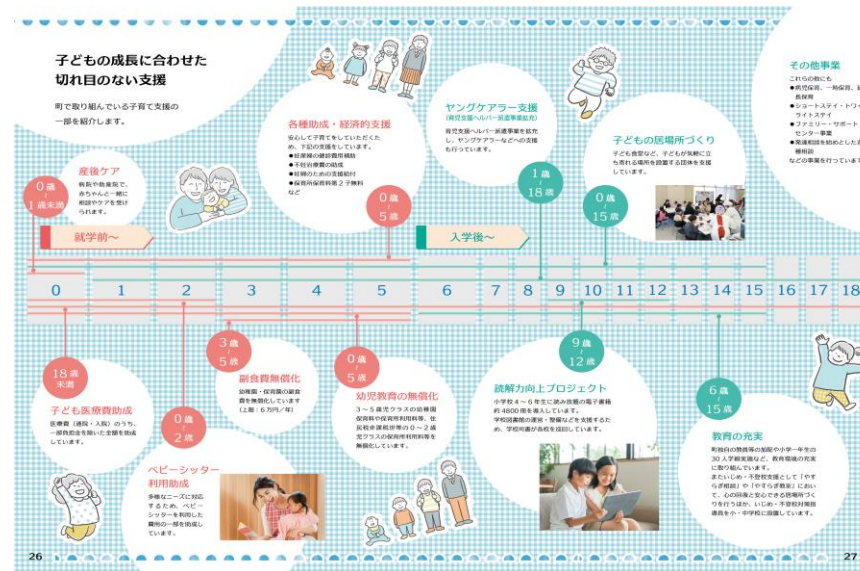
「ちょうどいいまちTAWARAMOTO」

田原本町を知らない人に情報発信

冊子を町内26か所の不動産会社に配布
ホームページにも目立つところにアップ

ちょうどいいまち TAWARAMOTO

このまちで くらしたいこそだてしたい
田原本ウェルカムガイド



賑わいある中心市街地の拠点 トモルテたわらもと



子育て支援や地域住民の交流の拠点。新たな居住者に向けた新たな居住モデルとして令和6年に完成。
1階部分は店舗（洋菓子店・医療機関など）が、3～10階はマンションが入っています。

買う・食べる・楽しむ！ 道の駅レステイ唐古・鍵



新しい田原本のランドマークとして平成30年4月にオープン。
唐古・鍵遺跡史跡公園のすぐ隣にあり、豊かな景観と地産産品を楽しめます。

2階 子育て支援・地域交流施設

こどもまんなか保育園
0歳～2歳児までの子どもを対象とした保育園です。保育園内で一時預かり事業も実施しています。

詳細はこちら
こどもまんなか保育園
ホームページ



こどもはくみくみ交流センター
子育てひろば、子育て支援や相談などがあり、親子でゆっくりと過ごせます。平日朝10～16時。
交流ひろば
障がい者などの地域活動交流を行っています。

詳細はこちら
こどもはくみくみ交流センター
ホームページ



FM まほろば
近隣の公営施設やコミュニティFMです。地域に密着した情報を提供しています。

FM まほろば
FM79.5



Kagi Bakery
新しい田原本のランドマークとして平成30年4月にオープン。
唐古・鍵遺跡史跡公園のすぐ隣にあり、豊かな景観と地産産品を楽しめます。



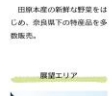
焼きたてのパンや、他の菓物などを使ったデザートが楽しめます。
生クリームなどを加えて焼き上げた「黄金の生クリームパン」は絶品！

からこカフェ
新しい田原本のランドマークとして平成30年4月にオープン。
唐古・鍵遺跡史跡公園のすぐ隣にあり、豊かな景観と地産産品を楽しめます。



地元産の食材にこだわった手作りおにぎりやお味噌汁などを提供。
お昼から入店OKで、季節限定のメニューも人気！

物産エリア
田原本産の新鮮な野菜をはじめ、奈良県産の特産品を多数販売。



二上山や唐古・鍵遺跡史跡公園を一望、豊かな景観が楽しめます。

町役場の組織

住民福祉部（4課）の正職員専門職の配置状況

住民保健課 保健センター係 保健師 5 人（課長補佐 1 人 係長 1 人）
管理栄養士 1 人

健康福祉課 保健師 1 人（課長）
社会福祉士 1 人（課長補佐）

こども未来課 保健師 2 人 助産師 1 人
発達相談員 2 人（課長 1 人）

長寿介護課 保健師 1 人（係長）
看護師 4 人（課長 1 人 課長補佐 1 人）

ヘルスケアプロジェクト事業

- 健幸ポイント事業
- 健幸運動教室

- 健幸ポイント事業

活動量計で歩いた分をポイントとして貯める

年会費 2,000円

付与ポイント最大 4,000円

ポイントは地域振興券に交換

アプリをインストールして、プッシュ型で配信
イベントの参加者が増加

- 健幸運動教室

プログラムに基づく筋力トレーニング

コロナ下でもオンラインでトレーナーと運動

6か月の期間終了後も卒業生として継続



「重層的支援体制整備事業」

R6年度から本格実施
1次窓口間の連携はスムーズになった
連絡先の広がりにより、課題解決ケースも増

社会福祉協議会に委託し、事業検討の場を持っている
アウトリーチ等継続的支援事業
地域づくり事業

地域をまきこんだり、既存サービスの枠を
広げる取り組みをどう展開していくか

定例会議を「形骸化」しないように模索中



図2 「こどもまるごとプロジェクト」

こどもまるごとプロジェクト (概要)

～こども1人1人にあったきめ細やかな対応の実現を目指す～

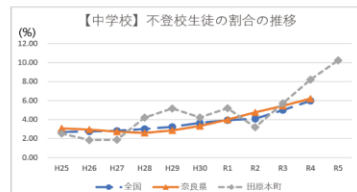
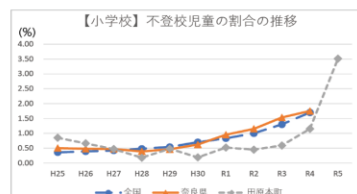
こどもまるごとプロジェクトとは？

こどもやその周りの人をまるごと(〇)包み込み、こどもにとってのよりよい未来につなげる(GoTo)取組です。

I プロジェクトの背景・方向性

プロジェクトの背景：現状と対策の重要性

不登校児童・生徒の増加



発達に課題があるこどもの増加

発達相談利用実数

R5: 205人

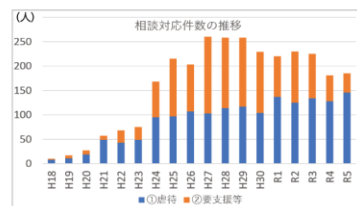
障害児通所支援の見込み量

項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度
児童発達支援	人日/月	911	1,102	1,333
	人/月	130	157	190
放課後等サービス	人日/月	1,649	1,995	2,413
	人/月	164	198	240

児童虐待の増加

要保護児童管理ケース (令和6年4月1日)

虐待: 114人



基本的な方向性

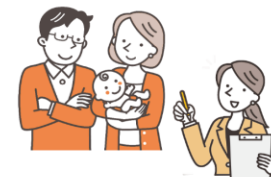
- ① 全ての子育て世帯に対し、福祉と保健の相談支援を一体的に行う
- ② 登校の状況にかかわらず、学びや居場所を確保できる支援や体制を準備する
- ③ 学校のハード整備を含め、こどもたちにストレスなく通ってもらえる環境を整備する

II 取り組んでいく施策（第一弾）

3つの具体策

① こども家庭センター（母子保健・児童福祉の一体的実施）の設置

- サポートプラン作成
支援を必要とする人に専門職が積極的にプランを作成
→ 支援員の配置 1,893千円 (国県補助 1,131千円)
- 相談支援システムの導入
乳幼児期から学童期へ切れ目のない支援と情報の一元化
1,386千円 (国県補助 660千円)



② こども・家庭への支援

- スクールソーシャルワーカー (SSW) を配置
児童・生徒の抱える問題を環境面から相談・支援・他機関との連携・学校との情報共有 (併せて、不登校対策を一元的に実施するため、生涯教育課で実施している相談援助事業の主管課を教育総務課へ所管替え)
2,141千円
- 小学校にスクールカウンセラー (SC) を配置
5小学校を巡回し、児童・保護者のカウンセリングを行う
1,537千円
- 校内サポートルームに支援員を配置
学校に登校できるが教室に入れない生徒を見守る (田原本中学校)
1,487千円
- R6.9月から幼稚園年少給食提供改定
年少児の給食を週3回から週4回に増加
→ 材料費代 458千円
- 特別支援教育をサポートする教育ソフトを試験的導入
子どもたちの実態に合わせた個別的教育支援計画・指導計画の作成や個別最適な教材作成をサポートする教育ソフトを、田原本小学校・南小学校・平野小学校・田原本中学校に試験的に導入



③ 学校快適化プロジェクト〈トイレ・エアコン〉

- 学校トイレ改修
 - ▶ 田原本小学校 (低学年教室及び特別支援教室周辺) 9基設置
【洋式】 4,000千円
 - ▶ 南小学校と平野小学校【洋式化・乾式化の設計】
4,000千円 (当初予算)

今後 南・平野小学校について、次年度以降4カ年に分けて、使用頻度の高いところを重点的にトイレの洋式化・乾式化及び特別教室へのエアコン整備



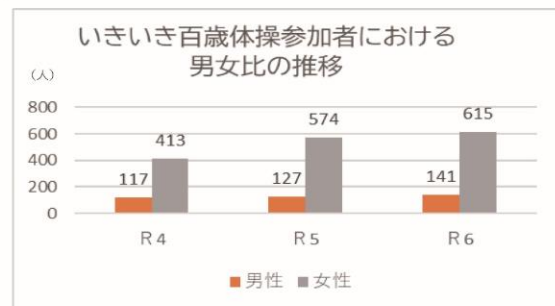
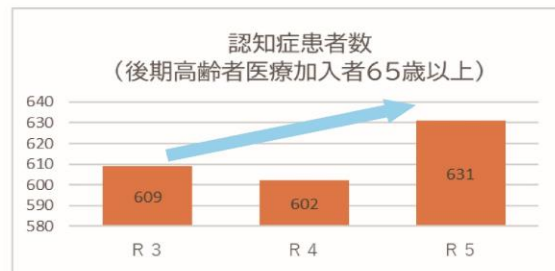
図3 「ともに生きていくまちプロジェクトTawaramoto」

ともに生きていくまちプロジェクト Tawaramoto

～ Ta (楽しく) wara (笑って) mot (もっと) 元気なまち たわらもと～

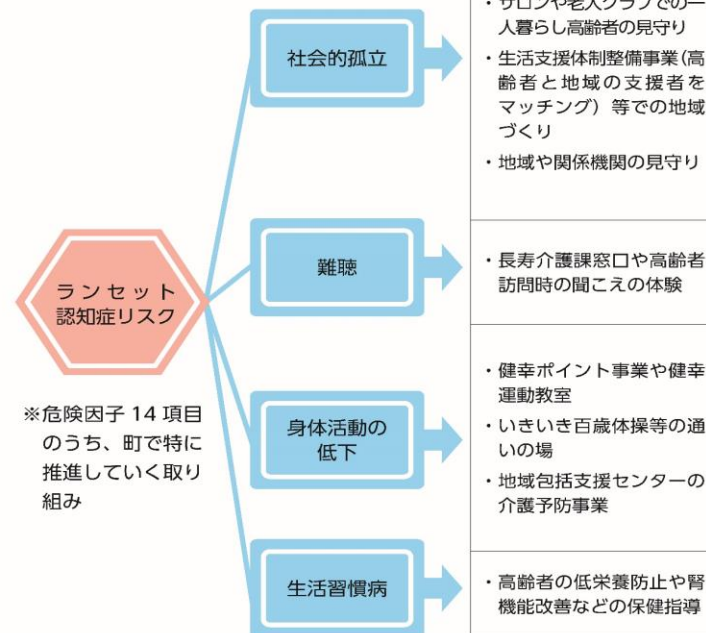
I プロジェクトの背景 (田原本町の現状)

- 全国的に高齢化が進み、本町においても特に一人暮らし高齢者や認知症患者が増加傾向にある。
- ランセット委員会の報告にもある認知症リスク因子に対して町では多様なアプローチで認知症予防に努めている。
- 課題として、イベントや通いの場の男性参加割合の低さや口腔機能・栄養状態の悪化、及び生活習慣病のコントロール不良から、75歳以上高齢者において高血圧・糖尿病は奈良県平均より悪く、認知機能の低下が懸念される。



II 田原本町の方向性

- 認知症予防として、ランセットの危険因子へのアプローチによる人が繋がり居場所と出番を実感できる地域づくり
- 早期発見・早期治療として通いの場等を活用した身体・運動機能低下の気づきと改善の機会の提供
- 認知症になっても地域で支えるしくみづくりとして、地域の見守り強化、行方不明高齢者等 SOS ネットワークの構築・強化



今後のさらなるアプローチ (拡充・令和7年度実施予定新規事業を含む)

▶一人暮らし高齢者の支援・ツナグ

拡充

- 見守りの拡充
 - ・見守りボランティア等のコラボ
 - ・行方不明高齢者等 SOS ネットワーク
- 他課との連携によるツナグアウトリーチ
 - ・重層的支援体制整備事業の社会的孤立者の情報共有や関係機関等との連携強化。

新規

- 新たな居場所と出番
 - ・俺たちの運動教室の創設
 - ・男性に特化したプログラムを作成
 - ・俺たちの居場所づくり
 - ・運動教室参加者を地域の支え手にツナグ

▶聞こえの改善

拡充

- 軟骨伝導イヤホンの普及・啓発
 - ・地域の公民館等で開催する認知症予防教室で講話等を拡充

▶脳の活性化

拡充

- ・認知症予防教室での頭の健康チェック
- ・65歳以上健幸ポイント事業の推進
- ・グラウンドゴルフ場の利用の充実

新規

- ・中央体育館のジムの創設
- ・65歳以上ウォーキングイベントの開催

▶重症化予防

拡充

- ・高齢者の低栄養防止や腎機能改善などの保健指導
- ・介護サービス事業所や高齢者の通いの場等で歯科衛生士の助言等の拡充

新規

- ・生活習慣病予防教室(調理)の開催

▶その他

- ・身寄りなし支援
- ・意思確認シートの活用と地域での体制づくり

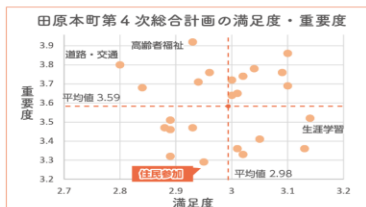
図4 「住民一人一人がまちづくりを自分ごととして捉える」

「みんなで紡ぐ幸せのまち」新2条例

「つながりと助け合いのまち」、人権を尊重し多様性を認め共に支え合う「共生のまち」となることにより「幸せを感じられる田原本」を実現

田原本町つながりと助け合い推進条例

●現状と課題



課題 田原本町第4次総合計画の取り組み内容について満足度・重要度を調査したアンケートにおいて、住民参加の重要度が最低値となっている。（令和3年2月）
行政への住民参加意識の醸成（まちづくりの自分ごと化）が必要である。

●条例の趣旨と理念

町民等と町がまちづくりについて共に考える場を設置すること等によって、町民等一人一人がまちづくりを自分ごととして捉えることを推進し、つながりと助け合いによるまちづくりを推進することを目的とする。

- 基本理念**
- (1) 地域のつながりを深めること。
 - (2) 町民等のまちづくりの自分ごと化を推進し、自主的な活動を尊重すること。
 - (3) 多様な主体の助け合いを推進すること。

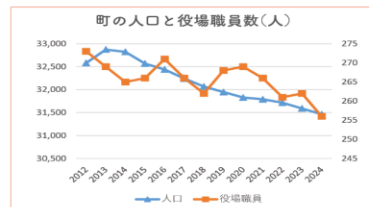
●住民協議会の開催

行政への参加を通じ「自分ごと」として、具体的な課題解決を考えてもらう場である住民協議会を令和4・5年度に開催した。

開催後のアンケートでは「意識の変化があった：59%」「住民同士で町の課題が議論・意見交換ができる場があれば参加したい：60%」と行政への参加意識の向上が見られた。

今後も必要に応じて、

無作為抽出による熟識プロセスとしての住民協議会を開催する。



課題 住民ニーズが多様化・複雑化する一方、行政改革などにより全国的に地方公務員は減少傾向にある。加えて、地縁的なつながりも希薄化している中で、行政のみでのまちづくりに限界があり、まちづくりの「自分ごと化」に基づく「自助・共助」がより一層重要になる。

●目指す方向（一例）

●共に考える場で議論するテーマ

- 公共施設や土地の有効活用を検討
- 特定の地域におけるまちづくりの検討

●地域活動を推進する仕組みの新設



田原本町人権を尊重し多様性を認め合い共に支え合うまちを目指す条例

●現状と課題

- 依然として、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、LGBTQ+ 等に対する偏見や差別が、社会生活の様々な場面において存在している。
- 地域の寛容性（女性・家族・少数包摂などに係る価値観の柔軟性）と在住者の幸福度や出身者のUターン志向には正の相関があり（橋口ら、2011）、すべての人にとって生きやすい社会の実現のためには、寛容性の醸成が必要である。
- そのためには、あらゆる多様性に「気付き」「自分ごととし」「行動する」必要がある。



●条例の趣旨

人権を尊重し多様性を認め合い共に支え合う「共生のまち」を目指すため、町民等の権利、町の責務並びに町民等及び事業者の役割等を明らかにするとともに、全ての町民等が自分らしく生きることができるとを目的とする。

●目指す方向（一例）

ジェンダーギャップの解消

- 女性の働きやすさの改善
関係機関と連携して、健康経営のみならず、えるぼし認定の取得促進等
- 行政の意思決定への多様な参画
●女性議会の開催
●各種附属機関・役場管理職への登用

課長級以上職員に占める女性割合（幼稚園含む／4月1日時点）

年度	女性割合（%）
平成31年度	22.7
令和6年度	32.6

附属機関・行政委員・議会議員女性割合（令和6年度）

- 附属機関：25.7%
- 行政委員：16.7%
- 議会議員：0.0%

「ファミリーシップ宣言制度」の構築

条件を満たした同性カップル等が、町営住宅への入居が可能となるなど、生きづらさや困難の解消を図る。

ジェンダーレス制服の導入

中学校の制服をジェンダーレス化する。

多様なコミュニケーション手段の保障

一人一人のニーズに基づき、あらゆる障がいの特性に応じたコミュニケーション手段（手話・点字・要約筆記等）を確保する。

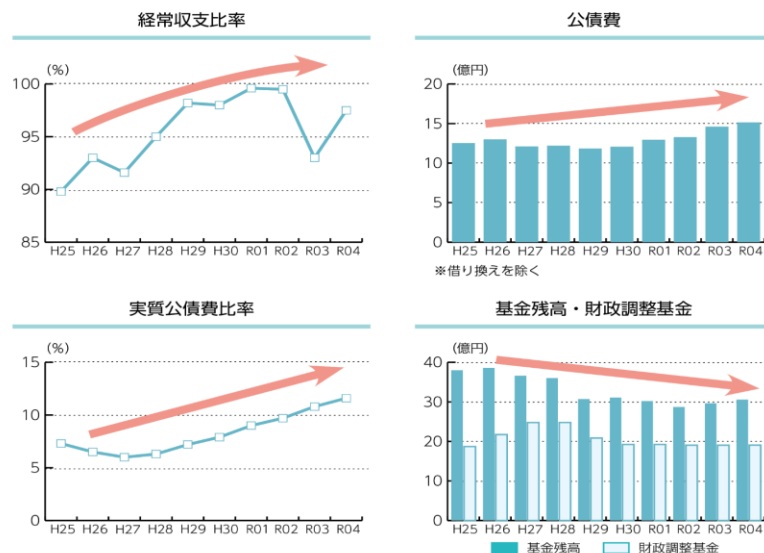
図5 「未来を拓く行革～みんなでつくる持続可能なまち～」

未来を拓く行革 ～幸せを感じられる田原本の実現に向けて～



I 田原本町の現状

- 国等から補填されない公債費の増加などにより財政状況が悪化
- 7年連続基金の取り崩しにより予算が成立（決算ベース）



II 今後の田原本町

- 投資規模を維持すれば、公債費のピークが更に後ろ倒しに
- 高齢化の一層の進展などによる社会保障費の増加
- 公共施設の更新時期の到来

→町の財政は一層厳しくなる見込み



II 目下の取組

- 1 ハード整備の平準化等
(下水道・雨水貯留施設・橋梁)

7.78 億円

- 2 公債費繰り上げ償還

2.52 億円

- 3 基金運用

- 国債等の有利な債券を購入

- 4 個別の見直し

- 土地開発公社の廃止
- 町長公用車を共用化し、公用車を2台廃車。今後も稼働率を踏まえ公用車台数の適減化へ。

- 5 特別職報酬減

町長：10%
副町長：5%
教育長：3%
257万4千円
(令和8年3月まで)

III 今後の方向性

1 田原本町特別顧問の設置

上村敏之氏（関西学院大学教授）に田原本町特別顧問に就任いただき、行政改革の推進体制を強化する。（次ページ参照）

2 短期的改革：決算ベースで基金を充当しない予算編成を目指す

（学校整備など一時的な大規模事業や県補助充当などは除く。）

- 財政シミュレーションの精緻化
- 全体の見直し

3 中長期的改革：持続可能な行財政運営の実現、住民参画の拡大など構造的な転換を目指す

「住民主体」で取り組んできたことは普遍性があった

都市計画・教育・防災など行政のどの分野でも「住民主体」の考え方が重要

まちづくりの会議にも「Well-being」の概念よくでてきます

保健師は住民との接点が多いのが強み

コミュニケーションが行政の根幹



「専門職としての懸念」

専門的であるがゆえに、自分で自分の業務を「これ」と小さく捉えてしまう可能性
(すごく小さな縦割り行政に陥りやすい)

とない!

「行政事務」は苦手ですか

どんな事務をされていますか？

会計処理

条例・要綱作成

契約

議会对応

などなど・・・



「得意」という人は会ったことがないので、みんな苦労しているはず・・・

「行政事務」をわからないなりにやってみる

部署の異動は転職並みにやることが違う

行政事務職の人も苦労しながら業務にあたっている

公共の仕事の難しさと民間企業にない
地域・住民への思い

- ワンポイントアドバイス

財政部局に予算の相談をするには
事業の財源がないか、国、県などの
補助金、交付金、起債などの歳入を
確認してから話してみても・・・

(「わかってくれてる」と話しやすくなる可能性が)



自分のところが他自治体と無料で比較できる便利なツールもあります
※地方公共団体金融機構 財政分析チャートNewOctagon

「人材マネジメント」

できる限り多くの課題に思いをめぐらせて、考えられる最良の「解」

職員の力を最大限に発揮できる環境が住民サービスの向上につながる

「やらされ感」がないように「自分たちでつくりあげている感」が大事

令和6年度から「横のつながりを深める」ことをはじめる
部長・課長・補佐・係長の階層別の研修会を定期的を開催

意見交換を重ねることで、変わるべきものは何かを見定める
課題の整理、分析、解決策の手法、実行、それを皆で共有

職員全体のつながりを
深めるため
「TEAMたわらもと
ゆるふわ通信」発行



「福祉の増進」

地方自治法第1条の2

「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として（略）」

地方公務員であれば、どのような部署であれ「住民の福祉の増進」に関わっている

これからも皆さまの「こうありたいという思い」を大切に

奈良県田原本町

